

平成31年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①福祉マインドの育成を図り、手話の普及を進める。 ②生徒の主体的・協働的な学習活動を進めるとともに、教育の質と量の向上を図る。	①福祉マインドの育成に向けて、総合的な探究の時間の内容を充実させるとともに、集会や式典などで手話に触れる機会を増やす。 ②研究授業や授業観察を充実させるとともに、生徒の学力向上を踏まえた新教育課程を編成する。	①総合的な探究の時間において、課題設定に向けて講話や体験等を行う。手話に触れる機会を設定する。 ②年次研修の研究授業・公開研究授業を中心に、定期的なお互いの授業を見合う機会を作る。 ③新教育課程編成指針に基づき具体策を策定し、新教育課程を編成する。	①福祉マインドの育成に向けた課題設定ができたか。 ②全職員が2回以上、他の授業を参観したか。 ③新教育課程編成指針に基づいた具体策を策定することができたか。
2	生徒指導・ 支援	豊かな人間性と社会性を育み、一人ひとりに応じたきめ細かな支援をする。	①規範意識の醸成を図るとともに、支援を必要とする生徒のため教育相談体制を充実させる。 ②学校行事において、生徒が主体的に企画・運営を行うようにする。	①服装の基準を整理し、統一した指導ができるようにする。また、遅刻者への指導方法を見直す。 ②授業に遅刻しない指導を徹底し、生徒の授業を大切にする心を育てる。 ③個々の生徒に寄り添う指導をし、必要に応じてケース会議を設定する。 ④各行事において、個々の生徒や学級の意見が反映されるように、生徒会および学級・学年、部活動の連携を強化する。	①服装指導を通して生徒に服装の基準を守る習慣が浸透したか。遅刻指導対象者が前年に比べて減少したか。 ②生徒の授業に取り組む姿勢が向上したか。 ③学校行事において、生徒が主体となった企画運営がなされているか。
3	進路指導・ 支援	生徒が自らの意志と責任で、よりよい進路選択ができるよう、進路指導計画の充実を図る。	①大学入試変革に対応した進路指導及び調査書作成方法を研究する。 ②生徒が自己実現に向けて主体的に挑戦する姿勢を育成する。	①大学入試制度の変革に係る情報を収集し、生徒の進路状況に合わせて「生徒活動の記録」を最適化する。 ②総合的な学習（探究）の時間等において計画的なキャリア教育に取り組む。	①情報を収集し、職員に還元できたか。「生徒活動の記録」を改善できたか。 ②計画的にキャリア教育に取り組むことができたか。
4	地域等との 協働	地域との連携・協働を推進し、地域から愛される学校づくりを進める。	①地域貢献活動及びボランティア活動を活性化させる。 ②教職員・生徒の防災意識を高めるとともに、地域と連携した防災体制を構築する。	①福祉マインドの育成に繋がるような地域貢献活動を企画・実践する。 ②ボランティア委員会等で地域の防災活動等に参加する。 ③地域と連携した防災訓練に積極的に参加するとともに、学年での災害図上訓練を企画する。	①地域貢献活動に多くの生徒が参加したか。 ②地域の防災活動等に参加したか。 ③学年での災害図上訓練を企画できたか。地域の防災訓練への参加者が昨年度より増えたか。
5	学校管理 学校運営	生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。	①安全・安心の学習環境を整備する。 ②事故・不祥事防止について職員の意識を高める	①交通安全指導を継続的に実施する。 ②防災用ヘルメットを活用した避難訓練を実施する。 ③事故防止に対する意識を高めるような研修会を実施する。	①生徒に交通ルールを守り安全に気をつけて登下校する習慣がついたか。 ②防災用ヘルメットを活用した避難訓練を実施したか。 ③教職員の事故防止への意識が高まったか。